

おかげさまで！

100号
記念号

まちづくり応援マガジン
supported by Ohyamagumi

地域コミュニティの発展が日本中を元気にする！

元 気 宣 言



令和2年9月30日（隔月刊）
www.ohyamagumi.co.jp
発行/株式会社 大山組
編集/大山組営業部企画室
発行部数/110,000部

ご希望の方には毎号直接無料でお送り致します。
こちらまで → ☎ 0120-6600-62

建主探訪

中原区 原 様

台風の影響を克服

その統率力に感銘しました！

原様のお話



1階にある保育園専用エントランス



日々市民の方々と触れ合う中、中原区の人口増加に伴う子育て支援施設の整備は急務でした。医療や育児支援を一か所で担える施設があれば…という思いが募り、私有地を活かし実現することにしました。小杉地区が抱える公園や園庭不足を考慮し、屋上には50m走を余裕でできるスペースも設けました。

施工に当たっては、大山組さんを筆頭に様々な地元業者さんにご協力いただき、安心感の中で工事を進めることができました。昨年秋には、台風15号の影響で材料調達が困難となり、工事が2週間ストップすることもありましたが、大山組さんの統率力とチームワークのおかげで今春予定通りオープンすることができました。短い工期の中で高品位な建物を建てていただき、関係者一同大変満足しています！！

2・3階 保育園



50m走も余裕でできる屋上園庭

子育て世代必見！ 新たな生活サポート施設が誕生しました！！

地域の方々に親しまれた石橋醤油店をご実家を持つ川崎市議員の原典之様。この度ご家族が所有する土地に、市民からの要望の多い子育て支援のための複合施設を造りました。1階には地域医療に貢献するクリニック、2階半分のスペースにはネイティブの先生も常駐し英語にも親しめる学童保育所、残りの2階

部分から3階にかけては市内でも数少ない120人収容可能な園庭付き保育園を構えたテナントビル（鉄骨造3階建）が完成しました。昨年開校した小杉小学校にも近く、医療・文教の再開発地区に連なる通り沿いという好立地、地域の方々の安心感に繋がる新たな生活サポート施設の誕生です！



自由民主党 川崎市議会議員
原典之
子どもたちをハードとソフト
両面で支援し続けます！

はらのりゆき 3つのお約束

1. 武蔵小杉駅周辺再開発
駅の混雑緩和、周辺インフラの整備等
2. 等々力緑地の再整備推進
プールの復活、等々力陸上競技場二期整備等
3. 防災対策
議員になる前からの活動、中原消防団の経験が活かされた災害対策

みなさまの声、市議会へ届けます！



原典之 後援会事務所
TEL 044-711-5511 FAX 044-744-2068

【物件概要】

- 物件名/ポム・ルテール小杉
- 構造規模/鉄骨造3階建
- 用途/保育園兼医療複合施設
- 敷地面積/960.25㎡ ○延床面積/1,715.79㎡
- 所在地/川崎市中原区小杉町
- 設計/(株)安江設計研究所
- 施工/(株)大山組
- 中原区内協力業者/[機械設備]鹿島環境設備(株)
[電気設備]株光陽電業社 [鉄骨工事]有渡政鉄工所
[防災]株総合防災 [防水工事]有茂木防水工業
[ガラス工事]有茂木硝子工業所



川崎市立小杉小学校 (H31年3月竣工)

【お問い合わせ】

☎ 0120-6600-62

受付時間 8:00~17:30 月~金 *土日祝休

Tel 044-411-3708 Fax 044-433-4595 〒211-0006 川崎市中原区丸子通1丁目 640-5

武蔵小杉エリアで70年



株式会社 大山組

www.ohyamagumi.co.jp



社長の目から
ウロコが落ちる

第12回

ドカーンとリオのカーニバル級のお祭り企画にしようと思論んでいた100号記念号。しかしこのコロナ禍にそれはちょっと…ということで、内容をググッと自粛し、通常号をベースにしたものとなりました(^_^)。

足掛け17年。数々の試練や苦難(?)もありましたが、軽い思い付きで始めたものがまさかこんなに長く続くなんて…誰かに賞状でももらいたい気分です(笑)。

創刊当時の2003年は建設不況の真っ只中。激しい価格競争でダンピングが横行し、採算を度外視した受注は当たり前。不動産業者からの紹介をアテにしても高い紹介料を払わされて結局建設会社には何も残らない。そんな時代でした。

しかしそんな苦しい状況を景気のせいにしては仕方ない。なんとか自分たちの強みや良さを直接お客様にお伝えして、自らの力で一件でも多くの仕事を取りたい。そんな思いで始めたのがこの元気宣言です。

ところがそんな思いとは裏腹に、始めの数期間は鳴かず飛ばず。新聞折込に毎号10万部も入れているのになぜ?と何度も心が折れそうになりましたが、継続は力なりと自分を鼓舞してコツコツと続けた結果、10年目くらいからようやく仕事に繋がるようになってきた気がします。

創刊当初からしばらくは、人づてに紹介してもらったフリーのグラフィックデザイナーの渡邊さんと私の2人で制作していました。企画、取材、記事作成を私が行い、それを渡邊さんがデザインして誌面を作る。今でこそ社内のスタッフも加わりましたが、渡邊さんとの二人三脚は今も変わりません。元気宣言のどこか温かみのある独特の雰囲気は彼女が作り出しています。いつも裏方に徹し、表に出ることのない彼女ですが、今回はこれまでの感謝も込めて、誌面に初登場してもらい、100号分の想いを語ってもらいました(^_^)。

始めた頃はアラサーでしたが、気がつけば私ももうアラフィフ。たくさんの

人の協力と応援のおかげでここまでやってこれました。掲載に快く応じて頂いたお客様、読者の皆さま、制作に関わった全ての人にこの場を借りて深く御礼申し上げます。

元気宣言はその名の通り、これからも元気に前に進んで参ります。目指すは200号!とりたいところですが、まずは101号を目指すところから始めます(笑)。

これからもこれまで同様、温かい目で見守って頂ければ幸いです(^_^)。



社長〜〜
あんまり無茶振りはやめてください〜

はじめまして。本誌デザイン担当の渡邊です。

100号。なかなか感慨深いものがあります。思い起こせば色々ありました…といきたいところですが、苦勞(?)話は99号の社長コラムで先を越されてしまい、またそれを語るにはスペースも限られているということで、今回は別の角度からの、私から見た大山組の話をしたと思います。

どうしたら大山組のよさをお伝えできるのだろうか…社長と一緒に考えてきた17年間でもありました。

会社の理念でもある「まじめな経営と技術」。その他にも私の中には、皆様に伝えたいアピールポイントが常にモヤッと心の中に存在していました。でも、それをあえて言葉にする機会がなくここまで来てしまったのですが、今回この原稿を書くにあたり頭の中を整理していたところ、突如その「モヤッ」がはっきりと浮き出てきたのです。

大山組のすごいところ…それは100号休むことなく続けてこられたこの継続力なのでは…?と。

誰に頼まれた訳でも、注目してもらえない訳でもない(泣)ことを淡々と(でも決して惰性ではなく)積み重ねていくこと。

そう。100号達成以外にも、私がじんわり感じてた大山組のよさ・強みというのは、その誠実さ、安定感だったのです。

社長交代やロゴ刷新、新社屋への移転…とこの17年間は大山組は華々しい変化の時でもあったように思います。また、すぐ隣の武蔵小杉周辺では大開発中。街も大きな盛り上がりを見せておりました。

しかしそんな中、いつ訪れても大山組は全く浮かれることなく同じテンションで存在していたように思います。

安心感、安定感。それはいつの間にか私の中で大きな信頼感へと繋がっていきました。

建物は、当然のことながら建てて終わりではありません。むしろその先の付き合いの方が長く、重要なわけです。

この先ずっと静かに見守ってくれる大山組がそばにいる確かさ。建物を建てる時に大事なことで、それに勝るものはないのでは?と思うのです。

元気宣言。これからも、街が、そしてそこに住む方々が健やかでありますように。そんな気持ち込めて、この先も発信し続けてまいります。

どうぞ、今後ともよろしく願いいたします。

100号制作の中で
苦しかった思い出

最初の頃、4コマ漫画で表現して欲しいという依頼が多かったこと...
グラフィックデザイナーと漫画家は違う職業なんです、社長...



ちなみに元気宣言100号分、
大山組webにてご覧いただけます!

デザイナーの
ひとり徒然探訪



TOPICS

オンライン無料相談急増中!



表情を確認できる安心感



図面や資料も画面上で共有



新型コロナの影響で、リモート会議が普及したいま、オンラインでの賃貸マンション造りの相談が増えています。時間をかけ練り上げて行く計画作り、ネットを使った感染リスクの無い商談が急増中です。建物に関するご相談、何なりとお申し付けください!!

【お問い合わせ】



編集後記

感染症による社会活動の制約の中、ようやく100号発行に漕ぎ着けました! 記念号としての華やかさも考えましたが、次の波への警戒感が高まる秋、トーンは変えずに市議会議員さんと日頃発言することの無い本誌デザイナーに登場いただきスペシャル感を出してみました! Stay home with 元気宣言でお楽しみください!! (^Q^)/(た)